



IXIL テラス(自在桁はね出し、傾斜納まり) 取付け説明書

●この説明書について

- ・他の商品と共通となっておりますので、商品によっては設定のない仕様も掲載されております。
- ・必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

- 本製品施工の際は、テラス(自在桁)本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

- ▲注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・傾斜納まりは木造住宅2階以下に取付けてください。3階以上には絶対に取付けないでください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
- ・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のシーリングは、ひび割れ防止のために、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

■シーリングメーカー

・信越化学工業	シーラント72
・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
・ダウ・東レ株式会社	SE960

■取付け上のお願い


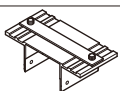
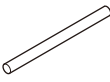
- 取付けは専門業者が行ってください。

■目次


- 自在桁はね出し納まり …………… P.3
- 傾斜納まり …………… P.4~8

■ 梱包明細表



● 中間柱セット(前面スクリーン用・自在桁長尺)

名 称	略 図	員 数
主柱		1
柱固定金具		1
アンカー棒		1
φ5×10 トラストッピンねじ3種	—	8
取付け説明書	—	1


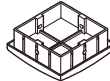
● 傾斜用水切り材セット

名 称	略 図	員 数
水切り本体(L=1900)		1

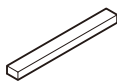
● 傾斜用部品セット

名 称	略 図	員 数
傾斜用水切り端部部品		2
端部垂木取付金具(傾斜用)		4
φ4.5×63 丸木ねじ	—	3
φ4×10 トラストッピンねじ3種	—	4
φ4×13 ナベドリルねじ	—	4
M4用 平座金	—	4
M4用 ばね座金	—	4
M4用 袋ナット	—	4
取付け説明書	—	1

● 造付け屋根取付け部品セット

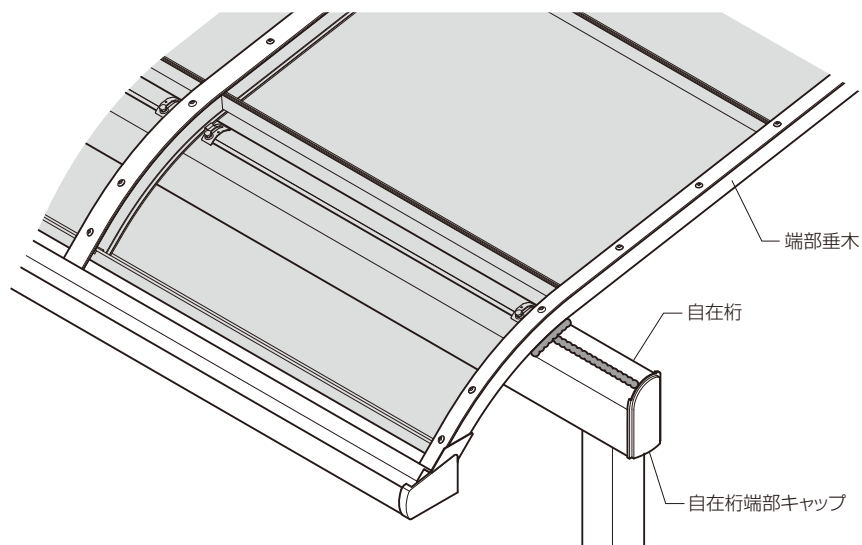
名 称	略 図	員 数	
		中間用	
		1本用	2本用
柱壁付け固定部品 (中間用アルミ)		2	4
柱キャップ		1	2
M8×90 六角ボルト	—	2	4
M8用 平座金	—	4	8
M8用 ばね座金	—	2	4
M8用 袋ナット	—	2	4
φ6×70 六角タッピンねじ1種	—	4	8
φ5×12 トラストッピンねじ3種	—	2	4
M6用 平座金	—	4	8
M6用 ばね座金	—	4	8
取付け説明書	—	1	1

● 自在桁はね出し用部品セット

名 称	略 図	員 数
自在桁止水パッキン		1
取付け説明書	—	1

自在桁はね出し納まり

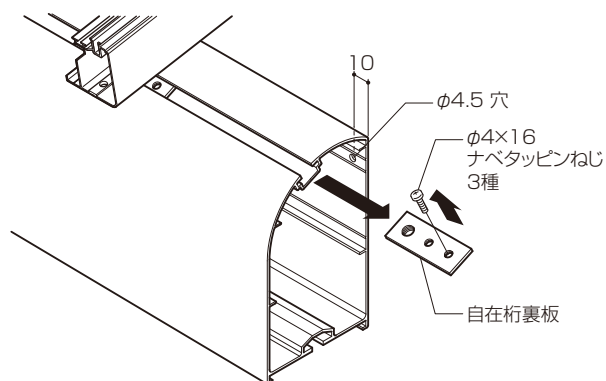
■構造説明図



■取付け順序

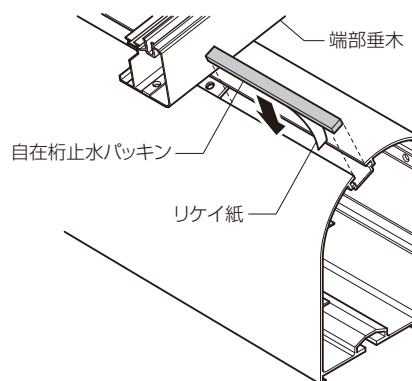
1 自在桁の加工

- 自在桁のはり出し部分を必要に応じて切断、穴あけしてください。
- はり出し部分に自在桁裏板がある場合は取外してください。

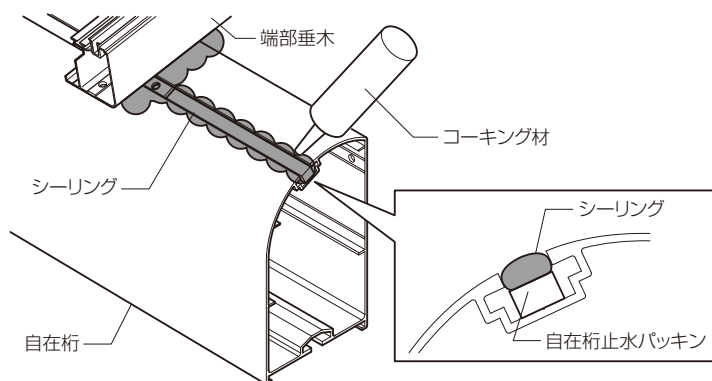


2 自在桁止水パッキンの張り付け

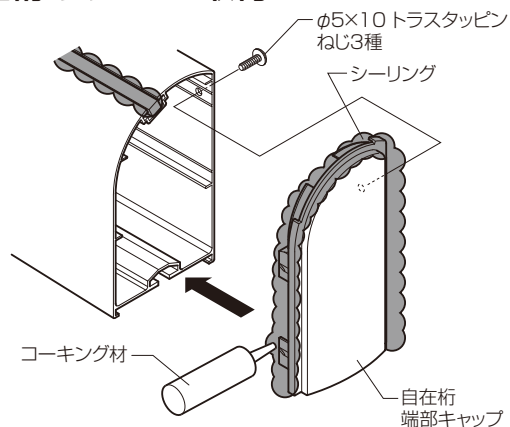
- 自在桁の溝部に自在桁止水パッキンを張り付けてください。



3 自在桁へのシーリング



4 自在桁キャップの取付け



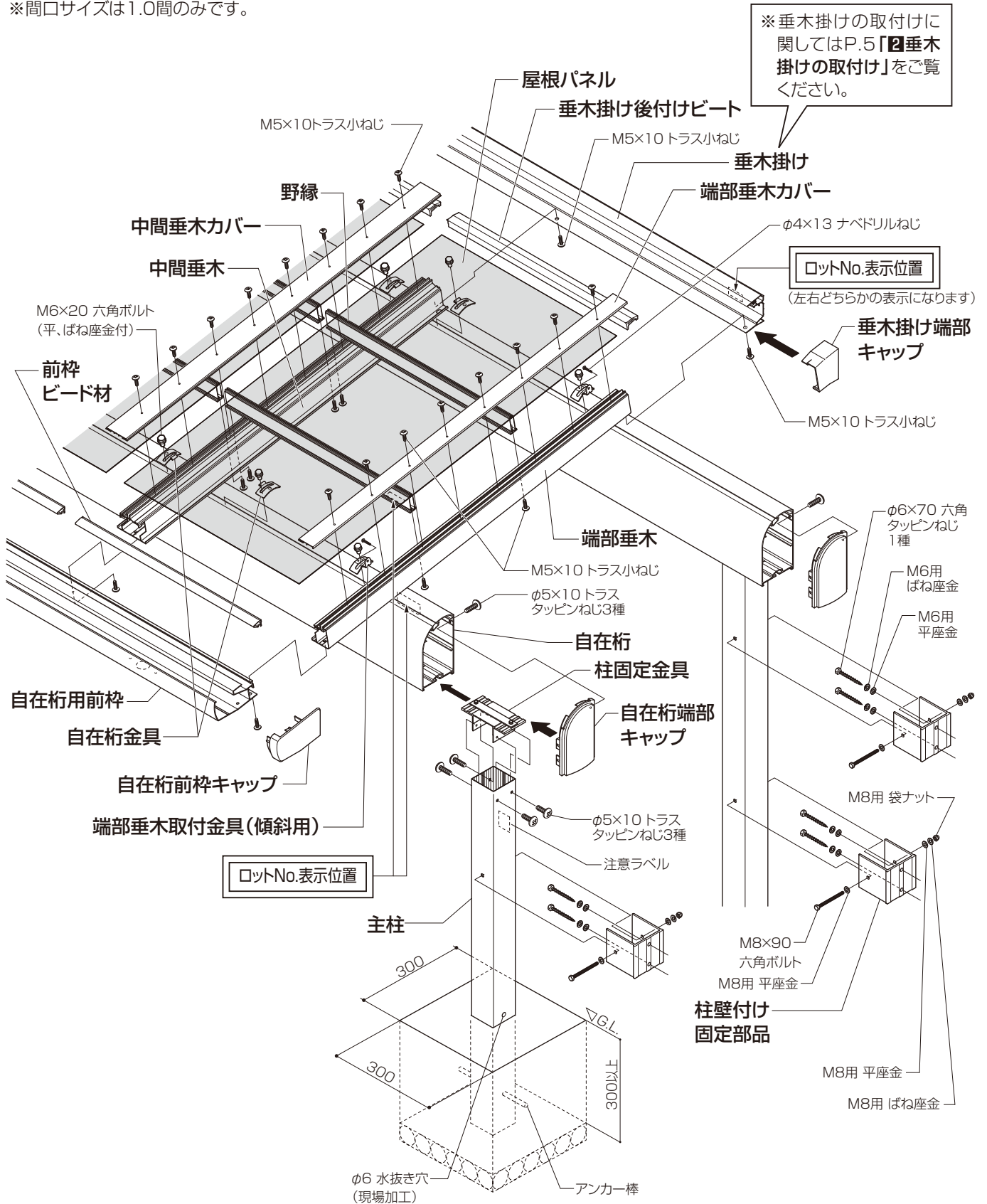
🔑ポイント

- 自在桁端部キャップのはめ合わせ部分にシーリングをしてください。
- 自在桁端部キャップのシーリングはテラス(自在桁)の取付け説明書を参照してください。

傾斜納まり

構造説明図

※傾斜納まりはF型屋根のみの設定です。
 ※間口サイズは1.0間のみです。

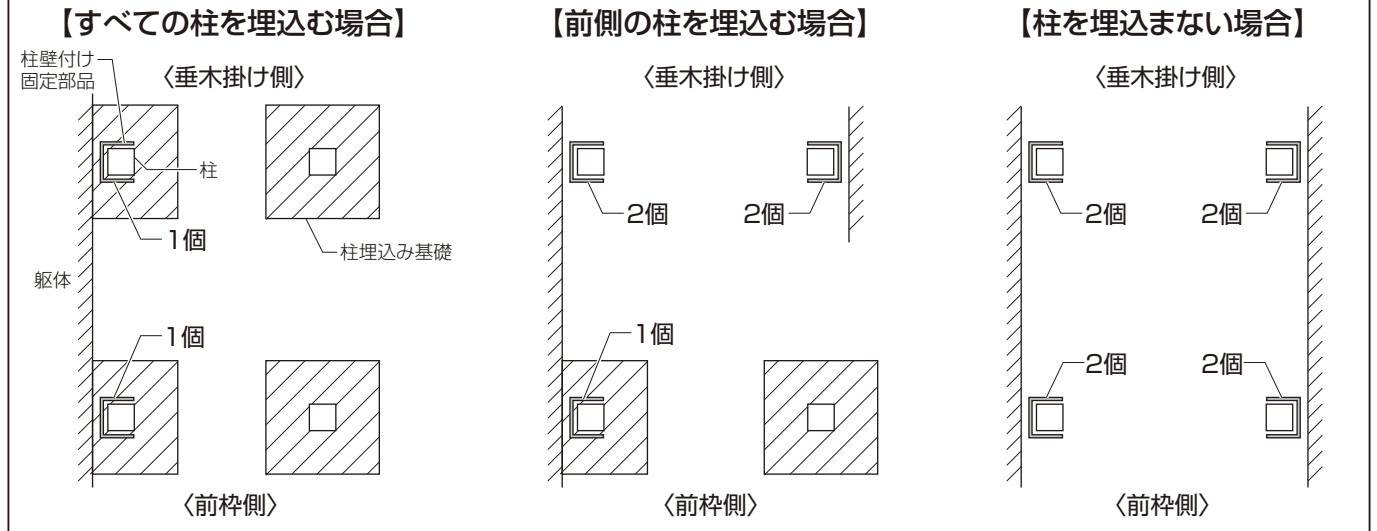


■取付け順序

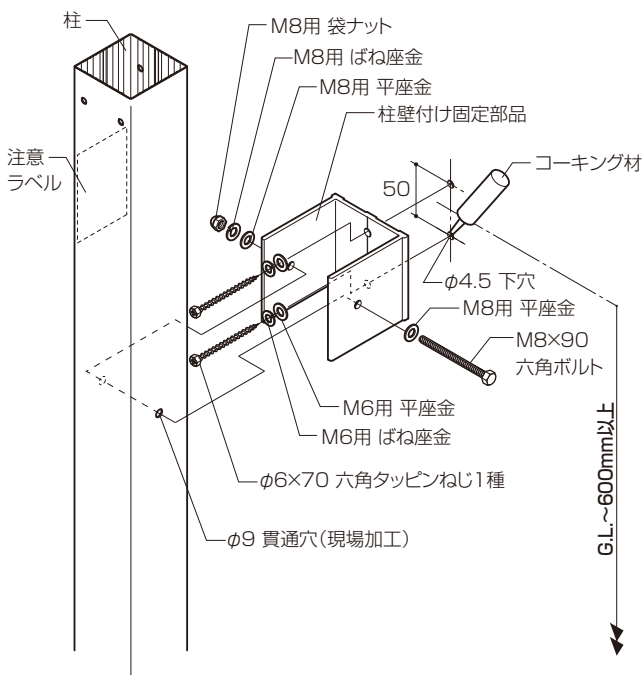
■1 柱の位置決めと柱壁付け固定部品の取付け

- P.8「【切断寸法式】」から柱を位置決めしてください。
- 下図「■柱壁付け固定部品 取付け個数」を確認し、必要数の柱壁付け固定部品を取付けてください。

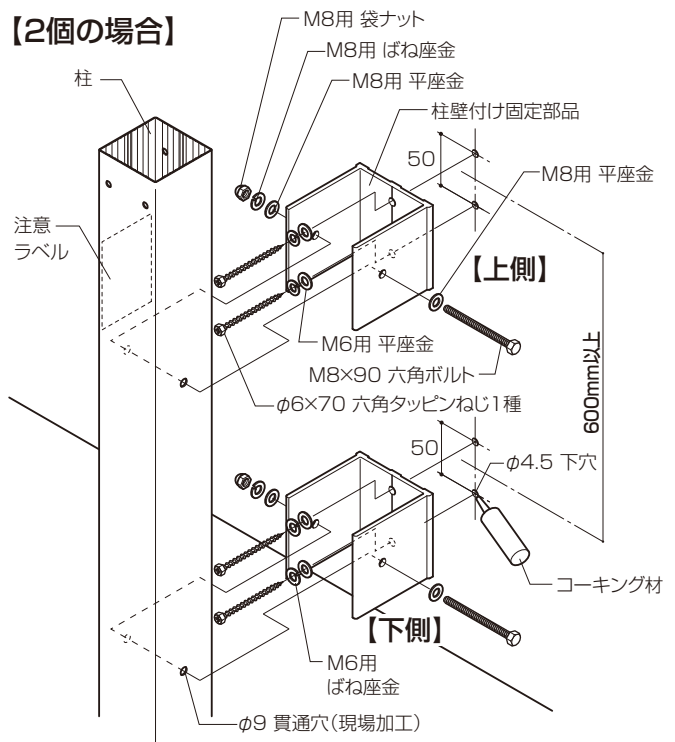
■柱壁付け固定部品 取付け個数



【1個の場合】

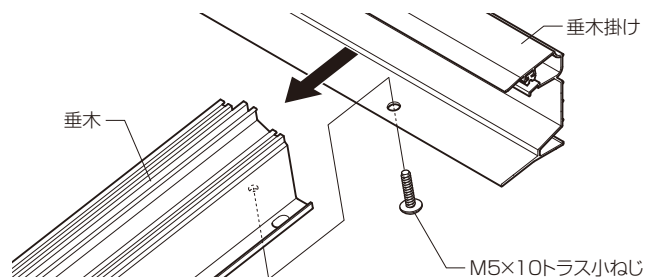


【2個の場合】

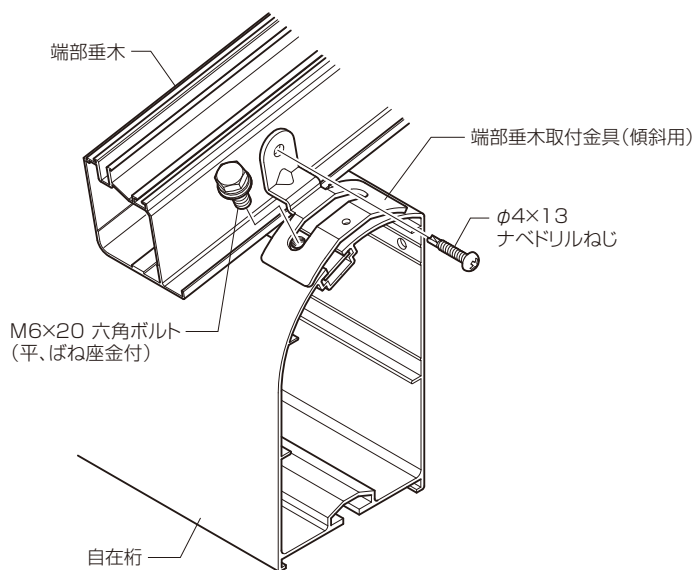


■2 垂木掛けの取付け

- 自在桁と垂木の取付け後、垂木掛けを取付けてください。
- ※垂木掛けは躯体に取付けず、垂木と固定してください。
- ※パネルを取付ける際は、垂木掛けを押さえながら挿入してください。



3 端部垂木取付金具(傾斜用)の取付け

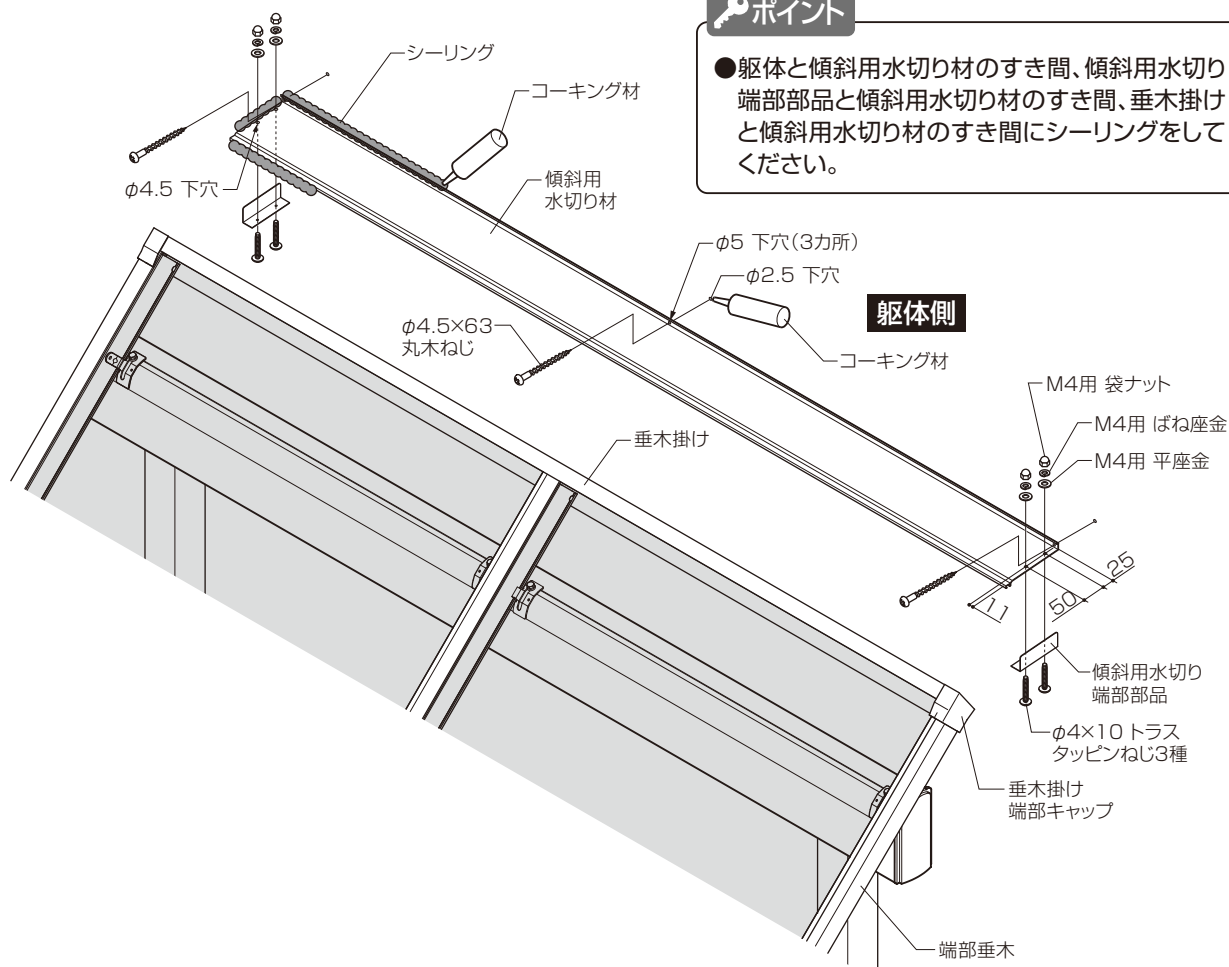


ポイント

- 端部垂木と自在桁の取付けのみの作業です。
- 中間垂木と自在桁の取付けには自在桁金具を使用してください。

4 傾斜用水切り材の取付け

- 躯体の柱および間柱の位置に合わせてV溝の位置にφ5の穴をあけてください。
- 切詰める場合、水切り材の切断寸法は、垂木掛けL寸+80としてください。

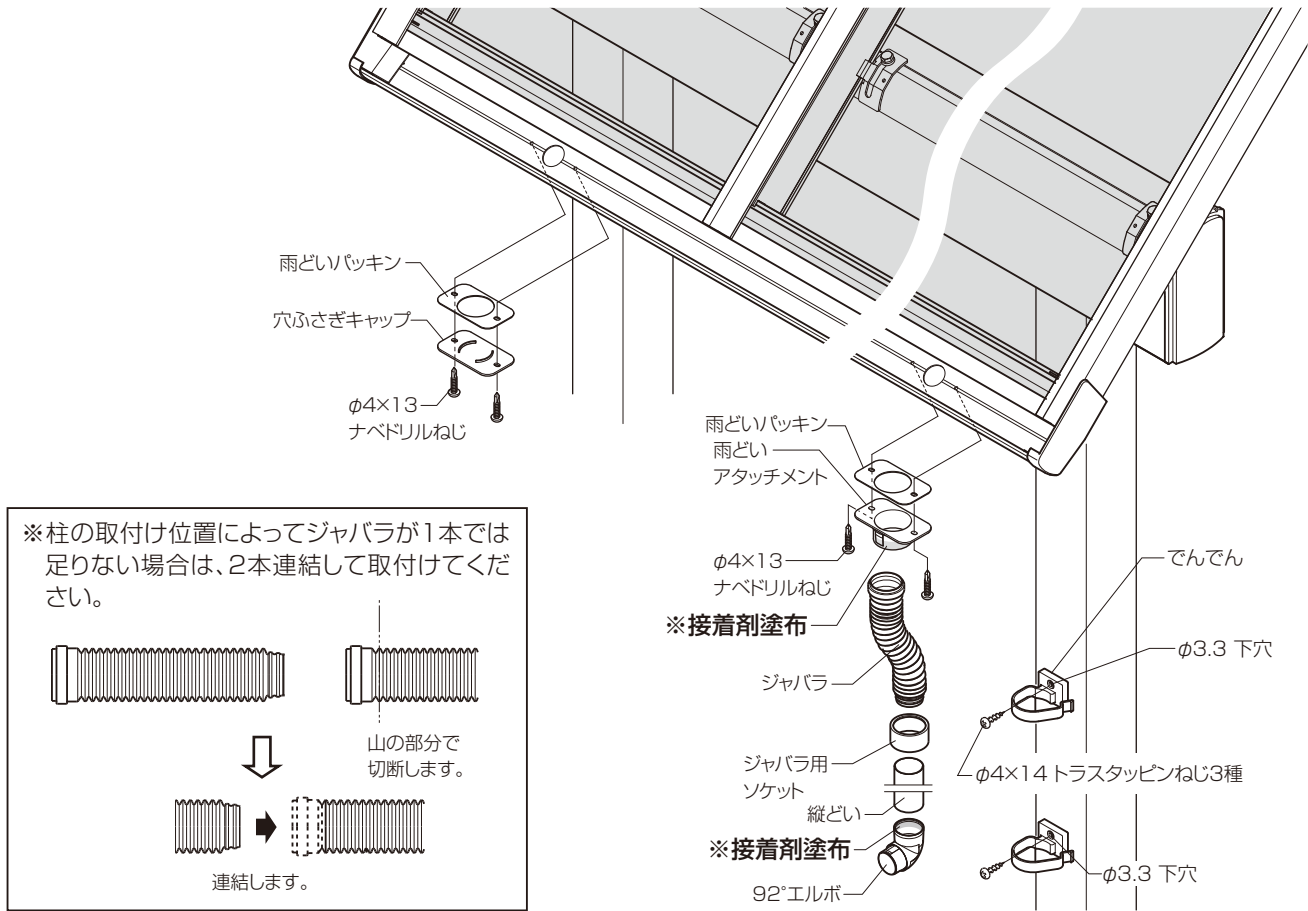


ポイント

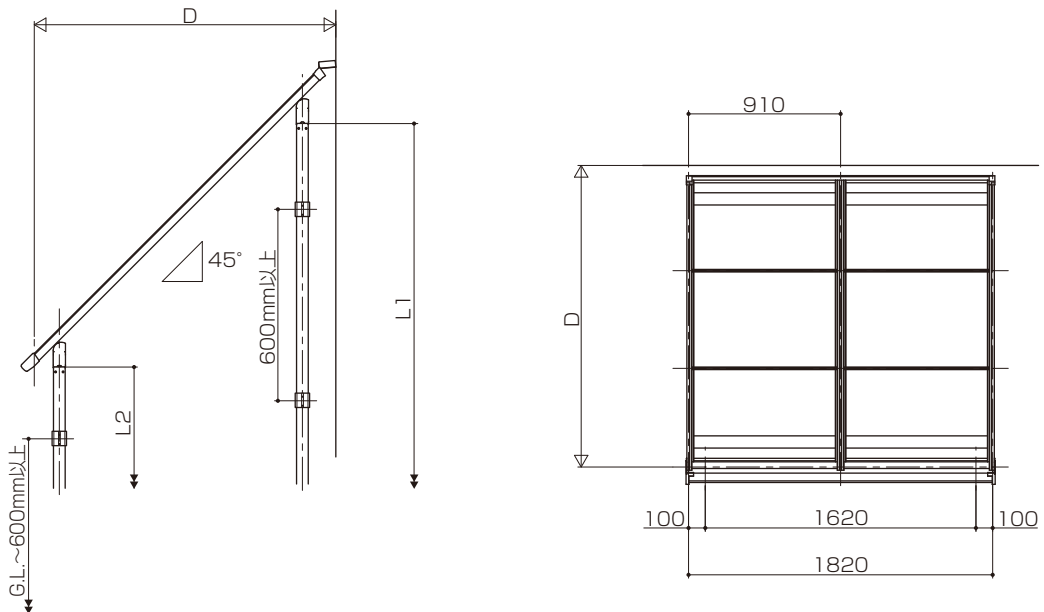
- 躯体と傾斜用水切り材のすき間、傾斜用水切り端部部品と傾斜用水切り材のすき間、垂木掛けと傾斜用水切り材のすき間にシーリングをしてください。

5 ジャバラの取付け

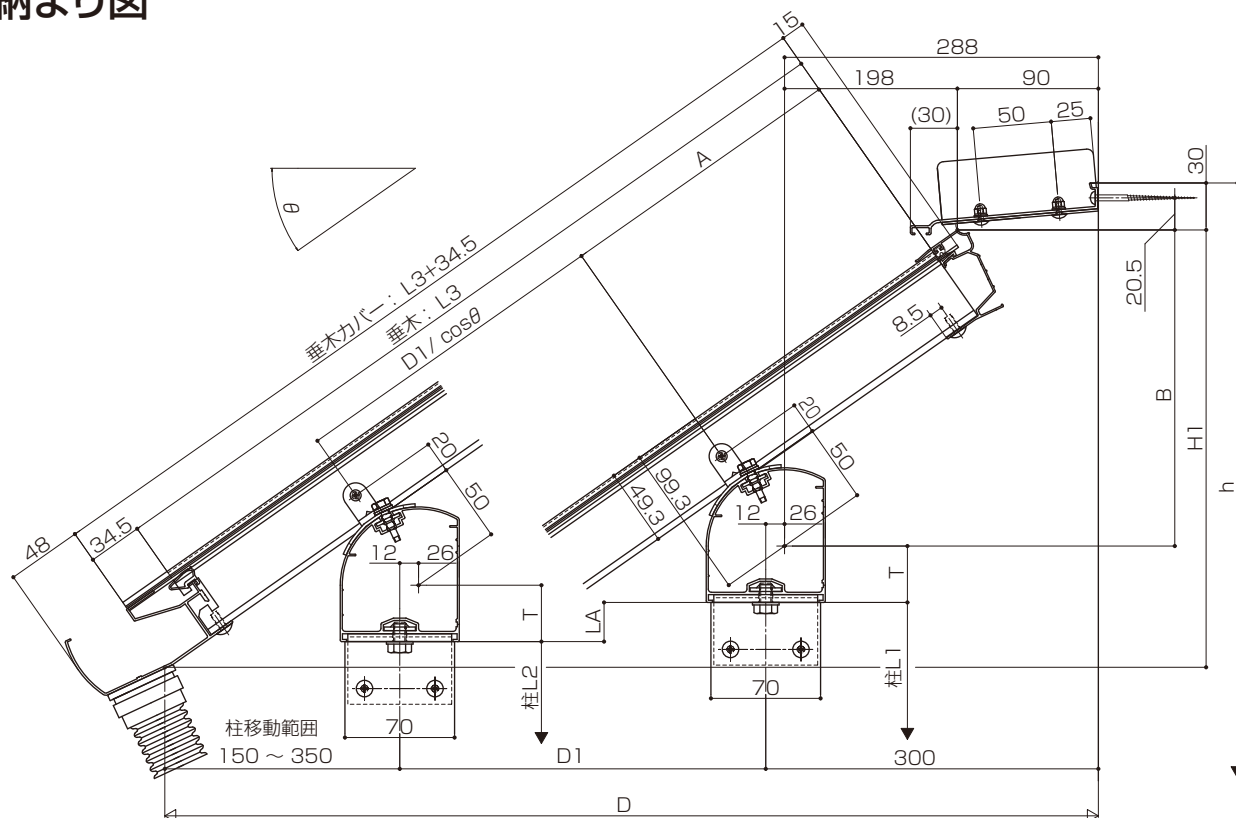
● 傾斜納まりの場合、ドレンエルボが使用できないのでジャバラを使用してください。



■ 寸法図



■納まり図



【切断寸法式】

- 柱 L1
 $L1 = h - B - T - 30 + 300$ (埋め込み寸法)
 $B = 198 \tan \theta + 102 / \cos \theta$
 T: 下表
- 柱 L2
 $L2 = L1 - LA$ $LA = D1 \tan \theta$
 ※L1、L2のGLが同じ場合
- 垂木 L3
 $L3 = 52 \tan \theta + (D - 90) / \cos \theta - 57.1$
- 端部垂木穴位置 A
 $A = 102 \tan \theta + 198 / \cos \theta - 20.8$

θ	A	B	$\cos \theta$	$\sin \theta$	$\tan \theta$
20°	227.0	180.6	0.94	0.34	0.36
25°	245.2	204.9	0.91	0.42	0.47
30°	266.7	232.1	0.87	0.50	0.58
35°	292.3	263.2	0.82	0.57	0.70
40°	323.3	299.3	0.77	0.64	0.84
45°	361.2	342.2	0.71	0.71	1.00

自在桁	T
A	36
B	81

- H1
 $H1 = (D - 90) \times \tan \theta + 52 / \cos \theta$
- L3

$\theta \backslash D$	885	1185	1485	1785	2085	2385	2685
20°	808	1127	1446	1766	2085	2404	2723
25°	844	1175	1506	1837	2168	2499	2830
30°	891	1237	1584	1930	2277	2623	2969
35°	950	1316	1682	2049	2415	2781	
40°	1024	1416	1808	2199	2591		
45°	1119	1543	1968	2392	2816	制作不可	

- H1

$\theta \backslash D$	885	1185	1485	1785	2085	2385	2685
20°	345	454	563	672	781	891	1000
25°	428	568	708	848	988	1128	1267
30°	519	692	865	1039	1212	1385	1558
35°	620	830	1040	1250	1460	1670	
40°	735	987	1238	1490	1742		
45°	869	1169	1469	1769	2069	制作不可	